令和５年度　第１学年　学年経営計画

学年経営目標　　『凡事徹底～当たり前を当たり前に～』

◎安心して登校でき、満足して下校できる学年集団になろう

学年目標

重点目標

①学習の凡事徹底（叡智・自治）

基本的な学習習慣の確立、自らに適した勉強方法の模索、「できた・わかった・考えられた」を大切にする生徒の育成

②生活の凡事徹底（健康・共生）

一人一人の個性や多様性（それぞれの凡事）を尊重し、思いやりのある言動ができる生徒の育成

ＴＰＯを意識し、基本的な生活習慣を身に付けさせ、健康的な生活を送る生徒の育成

③進路・キャリアの凡事徹底（叡智・自治）

自身の将来を考え、逆算してキャリアプランを立て、そこに向けた学習を積み重ねる生徒の育成

具体的な目標と取組み

項　目	目　標	（目標を達成させるための） 具体的な取組み
学習指導	○授業規律を確立 ○学習習慣の定着 ○学習意欲の醸成	・チャイム前着席の徹底　生徒主導の声かけ ・定期考査の学習計画表の作成指導と実施ﾁｪｯｸ ・自学自習ノートの推進 ・連絡帳による提出物の把握や声かけ ・教科横断的な学習や気付きを促す授業の作成
道徳教育	○自ら考え、整理する力の育成 ○多様な意見・個性を受け入れる感性の育成	・題材ごとにどのように考え、行動するか考える ・グループの話し合い活動や発表する時間を多く設定し、様々な違いを認める感性の醸成
キャリア教育 （進路学習）	○自己を分析する力の育成 ○自ら考え、行動する力の育成 ○必要な情報を収集する力の育成	・キャリア・パスポートを活用した自己分析を行う ・プランニングにより、具体的な将来を考える ・課題解決能力を育むためにも、メディア・リテラシーを正しく身に付け、調べ学習を行う
生活指導	○集団での規範意識の育成 ○責任感や忍耐力、想像力の育成 ○いじめの未然防止	・ＴＰＯを意識した言動や立ち居振る舞い、さわやかなあいさつを常に心がける ・係、委員会、班活動を通したリーダーの育成 ・自身の言動がどんな影響を与えるのかを考える ・アンケートや個別面談・ＳＣ面談の実施 ・全教員が全ての学級に関わる体制作り
特別活動	○学年・学校行事の充実 ○集団生活においての役割分担	・積極的に挑戦すること支援する体制作り ・個人ではなく、学級全体としての役割の確認と、それに対する当事者意識や協調性の育成
保護者との連携	○報告、連絡、相談の徹底 ○保護者との情報共有と連絡体制	・学年通信やＨＰによる細やかな情報発信 ・細やかな家庭との連絡、信頼関係の構築 ・情報共有の徹底と個に応じた支援・連携体制の構築

令和５年度　学級経営計画

第１学年Ａ組

学級担任　加藤　健太

１　学級経営目標

- お互いを高め合い、よさを認め合い、何事にも前向きに取り組む生徒の育成

２　クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

一人一人が一生懸命取り組めて、みんなが仲良く団結できるクラス

３　具体的な目標と取組み

項　目	目　標	（目標を達成させるための）具体的な取組み
学習指導	○授業に集中し、積極的に取り組む態度を育てる。 ○家庭学習をする習慣を身に付け、自ら学ぶ態度を育てる。	•チャイム着席を確実に行い、落ち着いて授業を始める。 •一生懸命は恥ずかしくないという共通認識をもたせる。 •自学自習ノートを活用し、主体的に取り組む態度を養う。
道徳教育	○基本的な生活習慣の定着を図り、自分で考え判断し、その行動に責任をもつ態度を育てる。	•グループでの話し合い活動の時間を十分にとる。 •考えたことを行動に移す場面で実践できる、行動力を高める。
キャリア教育（進路学習）	○自己理解を深め、自己の生き方に対する興味や関心を高める。	•キャリア・パスポートを活用して、将来の見通しをもたせる。
生活指導	○集団生活のルールを尊重し、けじめのある生活習慣を身に付ける。 ○委員会活動　係活動、当番活動などに積極的に参加し、集団の一員として周りを支える態度を育てる。	•身だしなみ、言葉づかい、あいさつなど正しい礼儀作法を身に付けさせる。 •連絡帳の毎日のやりとりや、休み時間に生徒と関わる時間を多く設け、生徒理解に努める。 •係活動を一人一役与え、役割を果たすように指導を行う。
特別活動	○学校行事に一生懸命に取り組むことで達成感や楽しさを味わわせる。	•生徒が活躍した場面や仲間での助け合いの場面など、些細なことでも一生懸命取り組んでいる姿を褒め達成感を感じさせる。
保護者との連携	○保護者との連絡を密に行い、生徒の成長を共に支援する。	•些細な変化でも気になったことがあれば保護者と情報共有を行う。 •保護者会や面談、学級だよりなどを通じて相互理解に努める。

令和５年度　学級経営計画

第１学年Ｂ組

学級担任　森田　莉香

１　学級経営目標

- 自他を大切にし、時間を守ることで、互いに信頼し合うことができる。
- 当たり前を継続し、一人一人が楽しいと感じることができる。

２　クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

自分のことも大切にしながらみんなの違いを認め合い、
感謝の気持ちを表せる１年Ｂ組

３　具体的な目標と取組み

項　目	目　標	（目標を達成させるための）具体的な取組み
学習指導	○ １年生のうちから、計画的に学習に取り組む姿勢を育てる。 ○ 学習しやすい環境を整え、一人一人が集中できる環境にする。	• 自学自習ノートや忘れないゾウ、学習計画表などの活用し、勉強計画をたて勉強習慣を確立させる。 • ユニバーサルデザインを取り入れる。
道徳教育	○ 他者の意見を受け止める心を育成する。	• 班だけでなく、学級全体でそれぞれの意見をみつめることで、個人の考え方に差があることに気付かせる。また、批判ではなく、違いとして受け入れる指導を行うことで、発表をしやすい雰囲気づくりを行う。
キャリア教育（進路学習）	○ 中学生でなりたい自分を考え、行動を考えさせる。	• キャリアパスポートを通して、将来の見通しをもたせる。
生活指導	○ 事件や事故の未然防止、事後指導の充実を図る。	• 忘れないゾウを活用し、学校内外で起こったことにも気を配ることで、生徒たちの日々の変化に気付けるようにする。
特別活動	○生徒一人一人が役割をもち、自己有用感を育てる。	• 委員会、係、当番、日直などの役割の意味を伝え、責任をもって協力して仕事に取り組む姿勢を育てる。
保護者との連携	○ 各家庭と学級の役割を明確にし、多面的な生徒指導をする。	• 些細なことでも連絡を取り合い、学校と家庭での様子を共有する。保護者と確認、相談する。

令和５年度　学級経営計画

第１学年Ｃ組

学級担任　冨岡　哲郎

１　学級経営目標

- どんなことにも一生懸命取り組む生徒を育て、明るく活気あふれる学級をつくる。

２　クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

Chance を掴め！！

３　具体的な目標と取組み

項　目	目　標	（目標を達成させるための）具体的な取組み
学習指導	○授業規律を確立させる。 ○家庭学習の習慣を定着させる。	• チャイム着席を徹底し、落ち着いて授業に取り組ませる。 • 主体的に学ぶ姿勢を育て、教員からの信頼を得させる。 • 自学自習ノートを活用する。
道徳教育	○多様な価値観を認め合う感性を育て、思いやりの心を育てる。	• 自分事として多角的に考えさせ、想像力を豊かにする。 • グループでの話し合いや発表の場面を充実させる。
キャリア教育（進路学習）	○自己理解を深め、自分の将来について考えさせる。	• キャリアパスポートを活用し、「自分らしい生き方とは何か」を考えさせる。
生活指導	○基本的な生活習慣を定着させる。 ○全ての生徒が安心して生活できる集団をつくる。	• 規律ある生活リズムと正しい礼儀や行動を身に付けさせる。 • 生徒との会話や連絡帳から生徒理解を深め、適切な相談活動を行う。
特別活動	○自分の役割を果たし、達成感を味わわせる。 ○行事に一致団結して取り組ませる。	• 委員会や係の活動など、生徒が活躍する機会を増やす。 • 褒めて認める指導を行い、自分の長所や可能性に気付かせる。
保護者との連携	○生徒の成長を共に支援する信頼関係を築く。	• 家庭への連絡を密に行う。 • 学級通信で教育活動のようすを発信する。

令和５年度　学級経営計画

第１学年Ｄ組

学級担任　齋藤　しのぶ

１　学級経営目標

- お互いを認め合い、支え合う　～思いやりの心を育てる～

２　クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

認め合い　高めあおう　笑顔あふれる１年Ｄ組

３　具体的な目標と取組み

項　目	目　標	（目標を達成させるための）具体的な取組み
学習指導	○授業規律を確立し、意欲的に取り組むことができる。 ○家庭学習の習慣を身に付ける。	•クラス全体で授業を大切にする雰囲気をつくり、チャイム前着席の徹底。 •自学自習ノートを活用する。つまずきのみられる生徒への声掛けをする。
道徳教育	○お互いの違いを認め、思いやりの心を育てる。	•題材テーマを自分事としてとらえ、どのような行動をとるべきかを考えさせる。 •４人グループでの話し合い、発表の時間を充実させる。
キャリア教育（進路学習）	○自分自身の生き方を考えさせ、なりたい自分を探す。	•キャリアパスポートを活用する。 •自分の将来を考えさせ、進路や職業に興味をもたせる。
生活指導	○いじめの未然防止。 ○基本的な生活習慣を身に付け、規律ある学校生活を過ごす。	•いじめは絶対許さない、ということを日頃から徹底する。 •自由と自治ということを踏まえ、ルールを守ることを徹底させる。 •一人一役の仕事に責任をもたせる。
特別活動	○生徒主体の学校行事を充実させる。	•学校行事等、生徒主体での活動を支援し、達成感の得られるものになるようにする。
保護者との連携	○保護者との連絡を密に行い、生徒の成長を共に支援する。	•保護者と信頼関係を築く。 •学級懇談会、面談で学校と保護者の連携が大切であることを伝える。

令和５年度　学級経営計画

第１学年Ｅ組

学級担任　中村　大樹

１　学級経営目標

誰が悪いかではなく何が悪いかを常に考える生徒を育成し、正義の通る集団をつくる。

２　クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

何が正しいか、何が悪いかを常に考え、協力できる集団にする。

３　具体的な目標と取組み

項　目	目　標	（目標を達成させるための） 具体的な取組み
学習指導	○家庭学習が習慣になる。	•一日３０分、机に向かうように帰り学活等を使って指導する。 •自学自習ノートを活用して、家庭で学習する習慣を身に付ける。
道徳教育	○少人数（４人程度）の話し合い活動で自分の意見を言えるようにする。	•導入を短くして生徒が話し合う時間を多く取る。 •生徒に明確化させる発問や可逆性を問う質問をすることで考えを深める。
キャリア教育 （進路学習）	○自己理解を深める。	•総合的な学習の時間や行事等で自らを振り返る時間を設ける。
生活指導	○誰が悪いかではなく、何が悪いかを考える。 ○思いやりのある生徒を育成する。	•何が悪いかという機軸で考えさせることで、人格を否定したり、誰かのせいにしたりすることをなくす。
特別活動	○与えられた役割を自主的に行う。	•一人一役必ず何か役割を担い、責任をもって活動にあたるように指導する。
保護者との連携	○報告・連絡・相談を密にし、保護者と信頼関係を築く。	•学級通信を定期的に発行し、学級の様子を伝える。 •悪いことだけでなく、よかったことや褒められる点を積極的に保護者に伝える。

令和５年度　学級経営計画

第１学年Ｆ組

学級担任　山内　美幸

１　学級経営目標

●お互いの違いを認められる学級づくりを行う。

２　クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

「平和に人と仲良く認め合う１年Ｆ組」

３　具体的な目標と取組み

項　目	目　標	（目標を達成させるための）具体的な取組み
学習指導	○学習に対する意欲を高める。	・落ち着いて学習できるよう教室環境を整備する。 ・毎朝の朝読書で授業に集中できる雰囲気作りを行う。
道徳教育	○自己理解を深めるとともに、他者の意見を傾聴する姿勢を育てる。	・自分の考えを整理する時間を十分に確保する。 ・発表や話し合い活動で自分との違いに気づかせ、それを肯定的に捉えられるよう声かけや指導を行う。
キャリア教育（進路学習）	○計画性をもった行動を心がけ、先を見通す力を高める。	・行事予定表や連絡黒板を活用し今後の予定の確認をさせ、身の回りのことを計画的に進められるようにする。
生活指導	○集団での規範意識を向上させる。 ○基本的な生活習慣を身につけさせる。	・TPO に合わせた言動を意識させる。 ・物と時間の管理が徹底できるよう声かけや指導を行う。
特別活動	○学級の一員として、役割や責任を果たす。 ○行事に意欲的に参加する姿勢を育てる。	・委員会や係、当番の役割を果たせるよう、声かけや指導を行う。 ・それぞれに得意不得意があることを理解させながら、協力し合える雰囲気づくりをする。
保護者との連携	○連絡を蜜にとり、生徒の成長を共に支援する。	・トラブルの際に早急に連絡をとるだけでなく、些細な変化がある時も電話や手紙で情報を共有する。

令和５年度　学級経営計画

第１学年Ｇ組

学級担任　香西　孝佳

１　学級経営目標

- それぞれの違いを理解し、一人一人が思いやりをもつ、あたたかいクラスをつくる。

２　クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

自立と成長を大切に、絆を深め、積極的なあたたかいクラス

３　具体的な目標と取組み

項　目	目　標	（目標を達成させるための）具体的な取組み
学習指導	○安心して学習に取り組める環境をつくる。	• チャイム着席を行い、落ち着いて授業を始める。 • 教室環境を整備する。 • 教室は間違っても良い場所であるということを理解させる。
道徳教育	○多様な意見を受け止め、考え、行動できる生徒を育てる。	• グループでの話し合い活動の時間を十分にとる。 • 道徳の授業で考えたことを行動に移す場面を見かけた際に、帰りの学活でフィードバックを行う。
キャリア教育（進路学習）	○将来の自分の在りたい姿から逆算した進路指導を行う。	• キャリア・パスポートを活用して、将来の見通しをもたせる。
生活指導	○生徒理解に努め、生徒の気持ちに寄り添った指導を行う。 ○責任感をもって行動する生徒を育てる。	• 連絡帳の毎日のやりとりや、休み時間に生徒と関わる時間を多く設け、生徒の些細な変化を見逃さないようにする。 • 係活動を一人一役与え、役割を果たすように指導を行う。
特別活動	○学校行事に真剣に取り組む楽しさを味わわせる。	• 生徒が活躍した場面や、苦手なことでも一生懸命取り組んでいる姿を見たときに、積極的に褒めることを心がける。
保護者との連携	○保護者との連絡を密に行い、生徒の成長を共に支援する。	• 些細な変化でも気になったことがあれば保護者と情報共有を行う。 • 保護者会での学級懇談を活用し、生徒の様子について発信する。